

希望・安心・活力あふれる未来への挑戦予算

2026年度(令和8年度) 重点政策

福山市

I	2026年度(令和8年度)重点政策 「希望・安心・活力あふれる未来への挑戦予算」	1
1	希望の都市づくり	2
(1)	福山版少子化対策の推進	2
(2)	若者や女性に選ばれる都市づくり	9
2	安心な市民生活と活力ある地域経済の実現	15
(1)	安心な市民生活	15
(2)	活力ある地域経済	18
3	物価高への対応	21
II	分野別の重点政策の主な事業	22
III	分野横断的に推進する取組 備後圏域の連携強化	26

I 「希望・安心・活力あふれる未来への挑戦予算」

当初予算額 約328億円 ※2025年度:約367億円
【一般会計分:約185億円】※2025年度:約201億円

2025年度3月補正予算前倒し分の約32億円を加えた
実質的な予算額は約360億円

- これまでの取組により、福山駅周辺の景色が大きく変わりつつあり、安心してこどもを生み育てられる環境も整いつつある。
- しかしながら、出生数は直近の10年間で3割以上減少し、若者や女性の転出超過は拡大傾向にある。人口減少は、市民生活や地域経済に大きな影響を与えるものであり、先送りできない喫緊の課題である。また、自然災害の激甚化・頻発化や幹線道路の慢性的な渋滞といった課題にも挑戦し続けていく必要がある。
- 次期「福山みらい創造ビジョン」のスタートとなる新年度からの5年間は、希望の都市づくりに向けて、「福山版少子化対策の推進」と「若者や女性に選ばれる都市づくり」に集中的に取り組むとともに、安心な市民生活と活力ある地域経済の実現のために必要な施策を総合的に推進し、「希望・安心・活力ある備後の中核都市」を創造する。



1 希望の都市づくり 約196億円

(1)福山版少子化対策の推進 約147億円

(2)若者や女性に選ばれる都市づくり 約49億円

2 安心な市民生活と活力ある地域経済の実現 約123億円

3 物価高への対応 約9億円

1 希望の都市づくり

当初予算額 19,623,163千円
【一般会計分:13,064,996千円】

(1)福山版少子化対策の推進

当初予算額 14,755,427千円
【一般会計分:8,508,827千円】

若者や女性が人生の様々な場面で自己決定を行う際に直面する障壁を取り除くことを今後の少子化対策の前提とし、今後5年間の少子化対策の新規・拡充事業を取りまとめた「希望の子育て5か年プラン」に基づく集中対策に総力を挙げて取り組んでいくことで、加速する少子化の抑制につなげていく。

「希望の子育て5か年プラン」 総額 約**49**億円（うち2026年度 約**7**億円）
（期間:2026年度～2030年度）

2026年度以降の新規・拡充事業を取りまとめた、福山版少子化対策を推進する5年間のプラン 新規**30**事業・拡充**13**事業

【プランの柱】

①働き方改革による家族時間・自分時間の確保 約**1**億円

②多様な生き方の尊重を前提とした結婚・出産を望む人への支援 約**4**億円

③こどもと子育て家庭への支援 約**44**億円

【目標指標】

希望出生率と合計特殊出生率の差の縮小

0.34 $\left[\begin{array}{l} \text{希望出生率} \quad 1.80 \text{ (2024年)} \\ \text{合計特殊出生率} \quad 1.46 \text{ (2023年)} \end{array} \right] \rightarrow \text{0.3以下 (2030年)}$

経済的負担の大胆な軽減

- ・ **小学校の給食費完全無償化**（2026年4月～）
- ・ **保育施設と中学校の給食費据置き**（ただし継続事業）
（2026年4月～）
- ・ **子ども医療費助成を高校生年代まで拡充**（2027年1月～）
- ・ **第1子の保育料の大幅な引下げ**（2027年4月～）
※放課後児童クラブ利用料と延長保育料の適正化を併せて検討

「希望の子育て5か年プラン」の2026年度の主な取組

①働き方改革による家族時間・自分時間の確保

<グリーンな企業プラットフォームの推進>

○企業の働き方改革の推進

- ・【新】働き方改革リーダー研修
 - 市内企業の管理職を対象とした研修により、働き方改革を実践するリーダーを育成



- ・【新】働き方改革実践応援奨励金
 - 男性育児休業取得率等を要件とした働き方改革を推進する企業への奨励金
- ・【新】働き方改革の推進に関する官民共同会議の設置
 - 商工会議所や商工会と問題意識を共有し、企業の経営者層に働き方改革の推進を働きかけ

②多様な生き方の尊重を前提とした結婚・出産を望む人への支援

<ジェンダーギャップの解消>

○性別役割分担意識の変革と賃金格差の是正

- ・【新】ジェンダーギャップ解消に向けた官民連携推進体制の構築
 - ジェンダーギャップ解消プロジェクトチームの発足
- ・【新】女性の復職キャリア支援
 - 市内に住む求職中の女性を対象に、専門講師による実務資格取得から就職までの伴走支援（資格取得のためのオンライン講座、就労支援など）

<SRHR(性と生殖に関する健康と権利)の理解促進>

○将来のライフプラン設計の支援

- ・【新】プレコンセプションケアの推進
 - 性別を問わず、若者が性や健康に関する正しい知識を持つための啓発と相談支援体制の整備

<出会いと結婚の支援>

○多様な出会いの場の提供

- ・【新】AIマッチングシステムの導入
 - 趣味や価値観が合う相性の良い異性をAIが紹介
- ・【新】コーディネーターによる相談支援
 - 結婚に関する相談への対応やマッチング後の伴走支援



<妊娠・出産への支援>

○周産期・小児医療の強化

- ・【新】福山市民病院 周産期母子医療センターの開設(48床)
 - 産婦人科病床の増床(20床→30床)
 - ハイリスク妊産婦への対応や高度な新生児医療の充実
 - MFICU(母体胎児集中治療室)(6床)
 - NICU(新生児集中治療室)(6床)
 - GCU(新生児回復室)(6床)



○妊娠・出産に向けた支援の充実

- ・【拡】一般不妊治療費助成の拡充
 - 35歳未満夫婦:助成なし→年5万円(最大)
 - 35歳以上夫婦:年2.5万円→年5万円

③こどもと子育て家庭への支援

<ネウボラセンターを中心とした相談体制の充実>

○ネウボラセンターの本格稼働

- ・【新】ネウボラセンターの相談体制の充実
 - 有人チャット対応による24時間相談可能な体制整備
 - 社会福祉士や公認心理士などの専門職を充実
 - 子育て等の相談・手続のワンストップ化



- ・【新】ユースセンターの開設<<再掲>>

○幼児健診の充実

- ・【新】5歳児健康診査の試行実施
 - 就学に向けた必要な支援体制を整備するため、保育施設と連携して実施(2027年度から本格実施)

<経済的負担の大胆な軽減>

- ・【新】小学校の給食費完全無償化<<再掲>>
 - 食材料費超過分(国の負担軽減措置の基準額との差額)を市が負担することで、保護者負担をゼロに
- ・保育施設と中学校の給食費据置き<<再掲>>(ただし継続事業)
- ・【拡】子ども医療費助成の拡充
 - 中学3年生までを高校生年代までに拡充
- ・【新】第1子の保育料見直し
 - 2027年度からの引下げに向けた検討
- ・【拡】一般不妊治療費助成の拡充<<再掲>>

<質の高い保育サービスの提供>

○保護者のニーズに対応したサービスの提供

- ・【新】手ぶらで登園できる「かるがる登園」の開始
 - おむつのサブスクの本格実施
 - お昼寝用簡易ベッドの導入



- ・【拡】病児・病後児保育の充実
 - 市内受入施設数の拡充(4施設→5施設)(予定)
 - ベビーシッター派遣の利用枠拡大(1枠/日→2枠/日)

○放課後児童クラブの利便性向上

- ・【拡】放課後児童クラブの開設時間延長
 - 開設時間を延長するクラブの拡充(22クラブ→33クラブ)

<困難を抱えるこども・子育て家庭への支援>

○障がい・発達に課題のあるこども・子育て家庭への支援

- ・【新】医療的ケア児の通学支援の本格実施
 - 医療的ケアを必要とするこどもの保護者支援として、看護師による医療的ケアを実施
 - 利用上限を拡充(週3日往復程度→週5日往復)

○不登校・ひきこもり支援

- ・【拡】校外フリースクール「かがやき」の支援体制の充実
 - 外部講師による学習支援を実施



○貧困の連鎖の解消

- ・【拡】ヤングケアラーへの支援強化に向けた実態調査
 - 小学校4年生～中学生を対象とした実態調査に、高校生年代を新たに加え、今後の支援策を検討

<若者の居場所とこどもの遊び場の充実>

○ユースセンター等による居場所づくり

- ・【新】ユースセンターの開設
 - ネウボラセンター内に若者が交流・活動・相談できるユースセンターを開設



- ・【新】官民連携による居場所づくり
 - 企業や団体等と連携し、若者が交流・活動できる場所を提供
- ・【新】こども食堂への支援
 - こども食堂の運営団体に対し、食材料費の高騰分を補助

○屋内外のこどもの遊び場の充実

- ・【新】ニーズに対応した魅力ある公園づくり
 - 富谷公園へのインクルーシブ遊具の整備
 - 総合体育館公園への日よけ施設の整備
- ・【拡】交流館へのキッズスペースの整備
 - 子育て世帯やこどもの居場所として、交流館へキッズスペースを設置



「福山版少子化対策の推進」を支えるその他の事業（「希望の子育て5か年プラン」以外の継続事業）

①働き方改革による家族時間・自分時間の確保

<グリーンな企業プラットフォームの推進>

- ・部会や好事例の横展開を通じたグリーンな企業の成長支援
- ・女性の就業環境改善への支援
- ・ふくやまワーク・ライフ・バランス認定による企業の魅力向上

②多様な生き方の尊重を前提とした結婚・出産を望む人への支援

<ジェンダーギャップの解消>

- ・子育て応援ウィークによる共働き・共育ての推進
- ・企業へのアンコンシャス・バイアスの気付きの促進などをテーマとした出前講座

<出会いと結婚の支援>

- ・協賛店によるカップル・新婚夫婦への特典サービス

<妊娠・出産への支援>

- ・多胎妊娠の妊婦健康診査の支援
- ・低所得妊婦への初回産科受診料の支援
- ・大学と連携した小児科医・産婦人科医の確保

③こどもと子育て家庭への支援

<ネウボラセンターを中心とした相談体制の充実>

- ・ネウボラ相談窓口「あのね」での相談支援
- ・子育て支援アプリ等での子育て関連の情報発信

<経済的負担の大胆な軽減>

- ・第2子以降の保育料無償化
- ・幼児等インフルエンザ予防接種費の一部助成

<質の高い保育サービスの提供>

- ・スマート保育による保護者負担の軽減
- ・潜在保育士の復職支援等による保育人材の確保
- ・（仮称）あけぼのこども園の整備
- ・湯田複合化施設へのこども園の整備

<困難を抱えるこども・子育て家庭への支援>

- ・ひとり親家庭の養育費確保支援
- ・ひとり親家庭の生活・学習支援
- ・イコールふくやま相談室でのDV・離婚等への相談対応

<若者の居場所とこどもの遊び場の充実>

- ・えほんの国の運営
- ・地域子育て支援拠点事業所での遊びの場の提供
- ・こども食堂の開設・運営支援

(2)若者や女性に選ばれる都市づくり

当初予算額 4,867,736千円
【一般会計分:4,556,169千円】

転出超過の抑制に向け、若者や女性が住み続けたい、将来帰ってきたいと思える都市を実現する。

①学びと仕事の選択肢の充実

<魅力ある高等教育の提供>

○福山市立大学情報工学部の開設に向けた取組

- ・新棟の整備
 - 2026年度整備完了
- ・学生確保のための広報や入試の実施



2027年4月開設

<若者のチャレンジ応援>

○夢の実現を後押し

- ・(仮称)ふくやま未来大賞の実施
 - 革新的・先駆的な取組を行う若者の発掘・審査・表彰
- ・【新】中・高校生を対象とした次世代AIアカデミーの開催
 - 将来活用できるAIスキルが学べる機会の提供
- ・福山夢・未来開花プロジェクト
 - 小学校高学年から高校生までの夢の実現に向けて、チャレンジする機会を提供

<新たな産業の創出>

○成長分野の企業誘致

- ・【新】新たな企業誘致施策の検討
 - 市内外企業の立地ニーズ等の調査・分析を踏まえた支援策の検討

②子育て・教育環境の充実

< 子育て環境の整備 >

○福山版少子化対策の推進<<再掲>>

< 全てのこどもたちが成長を実感できる学校教育の推進 >

○確かな学力と豊かな心の育成

- ・【拡】「学力向上プロジェクト」の更なる充実
 - 学力定着状況調査の拡充
国語・算数・数学 → 理科・社会を新たに追加
 - 英検IBAの活用による英語力向上
一人一人の英語力を把握し、レベルに応じた指導を実施
- ・【拡】文化芸術体験による豊かな創造力の育成
 - 日生劇場「ニッセイ名作シリーズ」観賞会に小学3年生
全員を招待

○不登校の未然防止と支援の充実

- ・【拡】校外フリースクール「かがやき」の支援体制の充実<<再掲>>
- ・メタバースを活用した不登校支援
- ・地域と連携したフリースクール「おやまの学校」の開催



○こどもの学びを支える教育環境の向上

- ・【新】全ての市立小・中学校等体育館への空調整備
 - 16校整備(うち4校は基幹緊急避難場所)<<2025年度3月補正>>

(参考)整備スケジュール

施設の老朽度や地域性を考慮し、今後4年間で計画的に整備

2025年度まで 21校整備完了
2026年度 16校整備
2027年度以降 63校整備

2029年度に
全100校 整備完了
基幹緊急避難場所の体育館は
2026年度に整備完了(25校)

全ての普通教室、一部の特別教室(音楽室等)は2019年度までに整備済み

- ・【拡】コミュニティ・スクールの全校導入
- ・福山市学校教育環境に関する基本方針の策定

③にぎわいあふれる都市づくり

<都市核と地域核の形成>

〔福山駅周辺のにぎわい再生〕

駅前広場が通過点でなく、人々が集まり、出会い、交流が生まれる**備後圏域の玄関口**へ



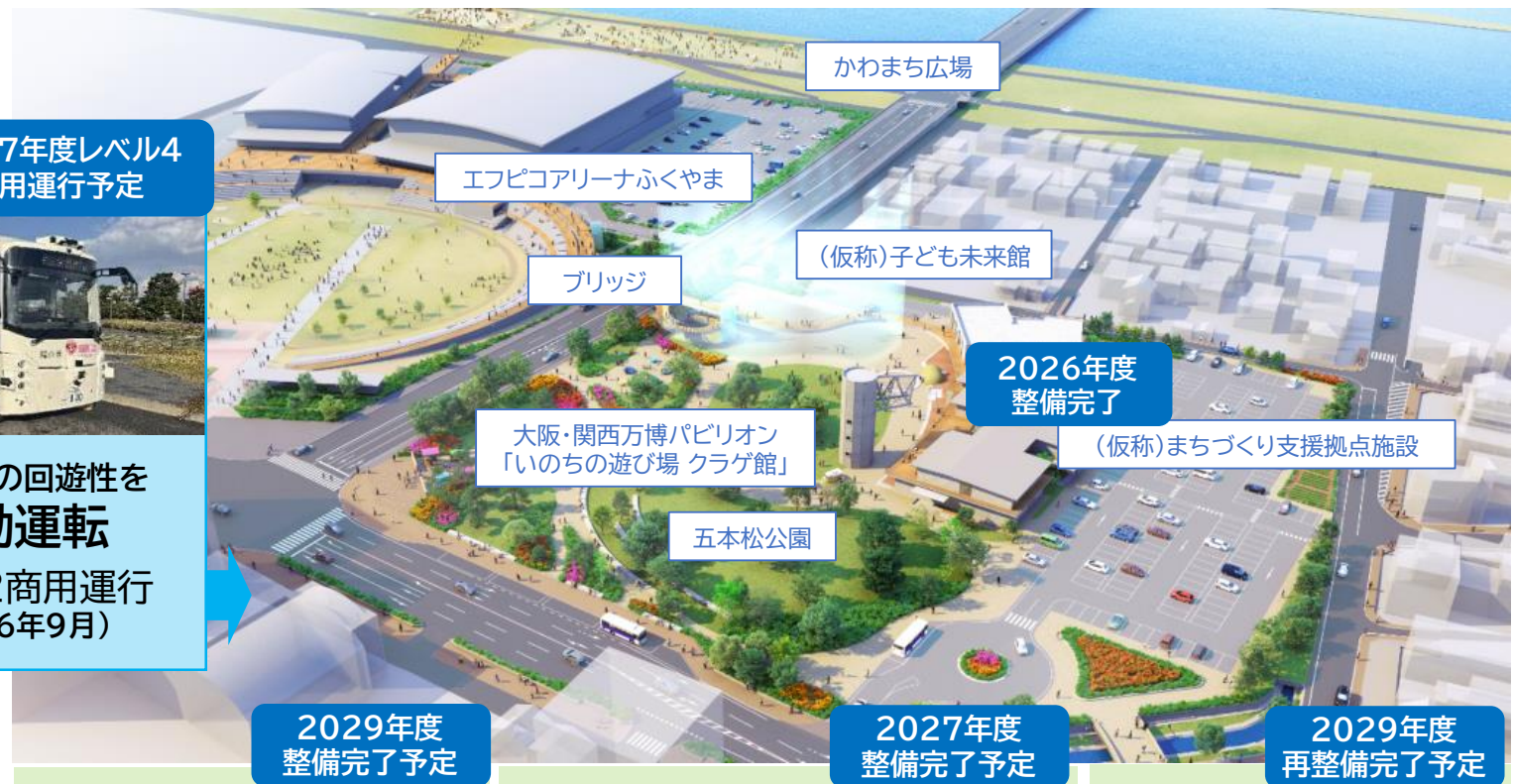
2027年度レベル4
商用運行予定

・2つのエリアの回遊性を
高める**自動運転**
➢ レベル2商用運行
(2026年9月)

- ・福山駅前広場整備基本計画を踏まえた広場再編事業
➢ 周辺道路等の検討

〔全世代交流型エリアの創造〕

健康・スポーツ・レジャー・防災・交流・教育・福祉の多様な機能を持つ
備後圏域の新たな交流拠点へ



- ・(仮称)子ども未来館の整備
➢ 事業者選定、設計

- ・【新】大阪・関西万博パビリオン
「いのちの遊び場 クラゲ館」の移築
➢ 設計、移築工事

- ・【新】五本松公園の再整備
➢ 設計

〔地域の拠点づくり〕

地域の声を形にした取組が**本格始動**

神辺地域

- ・みんなでつくる
神辺駅西側のまち



松永地域

- ・みんなで考える
松永駅北口のまち



新市地域

- ・かわまち広場から
人と人がつながるまち



沼隈・内海地域

- ・道の駅**アリストぬまくま**と
海を生かした南部地域



駅家地域

- ・**駅家公園**から元気で
暮らしやすい駅家エリアへ



- 地域住民による
(仮称)川南公園等の活用

- 松永駅北口における日常的
なにぎわいの創出

- 幅広い世代の想いを取り入れた
かわまちづくり計画の作成
- まちづくりを担う人づくり

- 意見交換でのアイデアの具体化
- 沼隈町・内海町の連携強化

- 駅家公園活用の方向性の検討
- にぎわい創出に向けた実証実験

取組を深化し、横展開・波及

・【新】地域の拠点づくり推進アドバイザーの派遣

- 議論の深掘りや不足する視点を補うために専門家を派遣

・地域力アップデート大会議の開催

- 地域間の連携促進や他地域への取組の波及

<歴史・文化の薫るまちづくり>

○文化・芸術活動の促進

- ・【拡】ばらのまち福山国際音楽祭の充実
 - 未就学児など誰もが観賞できる「親子で楽しむコンサート」を追加開催



- ・ふくやま美術館の改修
 - 2031年度リニューアルオープンに向けた基本計画の策定

<スポーツの振興>

○スポーツを楽しむ機会の充実

- ・【新】秋の一大イベントの開催
 - 現行の「ふくやまスポーツフェスティバル」と「ふくやまユニバーサルスポーツフェスティバル」を統合
 - 「ふくやまマラソン」の同日開催を検討
- ・【拡】ふくやまスポーツ祭の開催
 - 現行の「総合体育大会」と「スポーツ祭」を統合し、5月～11月にかけて開催



○スポーツ環境の充実

- ・【新】再整備に向けた耐震診断
 - 竹ヶ端運動公園陸上競技場などの耐震診断の実施

④“ばら”による都市のブランド価値の向上

○ばらであふれるまち

- ・公共空間への大会記念ばらの植栽
 - 拠点支所、緑町公園等への植栽
- ・【新】世界バラ会議福山大会開催1年後イベント
 - 福山ばら祭の開催と併せて実施
- ・【拡】ばらのまち福山の情報発信の強化
 - 2027年国際園芸博覧会への出展準備等
- ・【拡】周遊バスなどによるガーデンツーリズムの推進

○ばらのまちづくりの歴史・ローズマインド

- ・ばらの日啓発活動によるばらへの愛着の醸成
 - 専門学校と連携した啓発ポスターの作成
- ・Rose & Peace教育の推進
 - ばらやばらのまちづくりを題材とした探究学習

4つの大会レガシーを発展させ、

「世界一のばらのまち」

の評価を確かなものへ

○ばらを愛する多くの市民

- ・【新】福山ばら大学にマイスターコース創設
 - 栽培技術を普及する講師人材の育成

○国際会議を成功に導いたまちの力

- ・【新】現地視察制度によるMICE誘致の促進
 - MICE主催者を対象とした現地視察費用への支援
- ・MICEボランティアの本格始動
 - 主催者の需要に応じたボランティアの派遣

(1)安心な市民生活

希望の都市と活力ある地域経済の実現の土台となる、安心して暮らせる生活環境を確保する。

①高齢者の健やかな暮らしの確保

○フレイル予防と社会参加の促進

・【拡】おでかけ乗車券の拡充≪2025年度3月補正≫

- | | | | |
|-------|-------------------------|---|------------------------------------|
| ➢ 対象者 | 市民税非課税の
75歳以上 | → | 全ての
75歳以上 |
| ➢ 配付額 | 5,000円分
(バス・タクシー共通券) | → | 7,000円分
〔バス専用乗車券
2,000円を上乗せ〕 |

・フレイルチェック会などを通じたフレイル予防の推進

・ふくやまSHINKAプロジェクトによる社会参加の促進

- 民間活力を活用した介護予防の実施

・【新】AIを活用したケアプラン作成支援システムの導入

- ケアプランの質の向上と効率化を図るため、地域包括支援センターにシステムを試行導入

○認知症対策の推進

・【新】脳の健康度チェック事業

- デジタルツールを活用した認知症の予防・早期相談を推進

・認知症ナビの簡易スクリーニング検査の実施

○終活支援と見守り体制の充実

・【拡】終活に関する啓発と相談支援

- エンディングノート作成支援
➢ 終活啓発講演会の開催
➢ 専門職による相談会や相談窓口の開設

・【新】孤独・孤立対策の推進

- 身近な人の困りごとに気付き、必要な支援につなぐ「つながりサポーター」の養成

②持続可能な地域コミュニティの形成

○まちづくりネットを中心とした 新たなコミュニティづくり

- ・(仮称)まちづくり支援拠点施設の整備完了
- ・まちづくりネットによる地域課題の解決支援
- ・【新】ボランティアの活躍に向けた調査研究

○交流館の整備

- ・光、曙、山野、手城交流館の整備



③公園・緑地の整備

○地域が主体となった魅力ある公園づくり

- ・地域のつながり、新たな交流の場となる公園づくり
 - 新たに10公園を公募

④地域公共交通の充実

○公共交通の利用促進

- ・バス共創プラットフォームによる実証事業
 - 神辺駅を基点に、北部エリアの大型商業施設や福山北産業団地等を結ぶ新規路線の実装に向けた実証



- ・【新】商業施設連携型パークアンドライドの導入に向けた取組
 - 鉄道駅・バス停付近の商業施設駐車場の活用に向けた適地調査を実施し、候補地(10か所程度)を選定

○鉄道駅のバリアフリー化の推進

- ・【新】備後赤坂駅のバリアフリー設備整備への支援
- ・【新】神辺駅周辺地区バリアフリー基本構想の策定

⑤防災・減災の推進

○避難所の環境改善と備蓄体制の充実

- ・基幹緊急避難場所に指定された学校体育館の空調整備《再掲》
 - 2026年度 全校整備完了(25校)



- ・【新】防災拠点備蓄倉庫の整備
 - 基本計画の策定、候補地選定
- ・【新】分散備蓄倉庫の整備
 - 飲料水の備蓄充実に対応できる倉庫の整備(3か所)

○地域防災力の強化

- ・【新】地震防災マップ、津波ハザードマップの作成
- ・【拡】避難行動要支援者対策の強化
 - 制度未登録者への現況確認、個別避難計画の作成

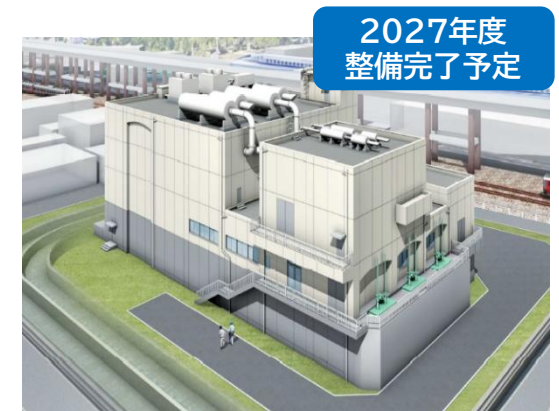


○浸水対策の推進

- ・蔵王ポンプ場の整備
 - 上屋築造工事に着手
- ・河川改修・排水機場の整備

○地震対策の推進

- ・ため池の耐震対策
- ・家屋の耐震診断、耐震改修への支援



(2)活力ある地域経済

産業の競争力を高め、新たな雇用が生まれる活力ある地域経済を実現する。

①産業の成長促進

○地元定着とU・Iターンの促進

- ・グリーンな企業の成長促進
 - 好事例の横展開などによる企業の魅力向上
- ・【新】キャリア教育支援事業費補助
 - 大学生等の企業見学、職業体験に係る経費の補助
- ・【新】U・Iターン就職支援事業費補助
 - 就職活動に係る交通費、内定後の移転費用の補助

○AI人材の育成

- ・AIビジネスキャンプ
 - AIスキルを有する人材と圏域企業の交流
- ・びんごデジタルラボ人材育成セミナー
 - AIの活用に向けたセミナー開催
- ・【新】中・高校生を対象とした次世代AIアカデミーの開催<<再掲>>

○企業の経営力強化

- ・【拡】販路開拓支援事業費補助
 - 海外出展に係る補助限度額の引上げ(20万円→40万円)
- ・【新】デジタルラボイノベーション
 - 先端技術を活用した実証実験による企業課題等の解決

○ものづくり産業の競争力強化

- ・【新】びんごもの創り推進会議
 - 備後地域のものづくり企業と首都圏等のベンチャー企業のマッチングによる新たなビジネス機会の創出



②農林水産業の振興

○農林水産業の稼ぐ力の向上

- ・福山地方卸売市場の再整備支援
 - 水産棟・廃棄物処理棟の整備着手



- ・道の駅アリストぬまくまの再整備
 - 測量、基本設計・実施設計
- ・【新】雇用就農事業費補助
 - 新規就農希望者の就農研修に対する補助

○農地の保全

- ・【新】耕作放棄地の利活用による地域活性化支援
 - モデル地区を指定し、地元自治会や有識者などにより利活用方策を検討

○海洋環境の改善

- ・【拡】漁場環境の整備
 - 海底耕うんの実施回数の拡大
 - かき殻散布の散布量の拡大



- ・【拡】有害生物の駆除
 - アイゴ対策を新たに実施(漁業者による駆除を支援、現存量調査を踏まえた駆除方法の検討)
 - ミズクラゲの集中駆除を拡大

○かき養殖事業者への支援

- ・【新】種苗の購入支援
- ・【新】経営安定資金利子補給補助
- ・【新】非破壊検査装置の導入支援



③戦略的な観光振興

○南部地域の周遊観光の推進

- ・**鞆地区東西交通・交流拠点の整備**
 - 観光バス駐車場、渡船事務所等の整備



- ・道の駅アリストぬまくまの再整備<<再掲>>
- ・【拡】地域資源を活用した体験プログラムの提供・創出



- ・**鞆の浦しおまち海道サイクリングロードの利用促進**

- 上級者向けルート整備
- サイクリングイベントの開催
(ゲートウェイ機能の実証)



④経済活動を支える基盤整備

○新たな産業用地の創出

- ・新たな産業団地の事業化検討、候補地の選定
- ・地域未来投資促進法を活用した産業用地の確保

○幹線道路網の整備促進

- ・今津高西線の整備に向けた構造物設計
- ・福山道路(未事業化区間)、神辺水呑線の早期整備に向けた取組

3 物価高への対応

当初予算額 893,013千円
【一般会計分:893,013千円】

物価高から市民生活と事業活動を守るため、引き続きスピード感を持って支援策を講じる。

①生活者支援

- ・【新】小学校の給食費完全無償化
- ・保育施設と中学校の給食費据置き
 - 物価高騰による給食材料費の差額を市が負担することで、保護者負担を軽減
- ・【新】こども食堂への支援《再掲》
- ・【拡】おでかけ乗車券の拡充《再掲》
《2025年度3月補正》
- ・再エネ設備などの導入支援
 - 太陽光発電設備や蓄電池の導入への支援

※こども1人当たり2万円分の子育て応援手当を支給
《2025年度12月補正》

※市民1人当たり5千円分の商品券を配付
《2025年度12月補正》

- 住民税非課税世帯等には1人当たり5千円分を追加し、合計で1万円分を配付



②事業者支援

- ・再エネ・省エネ設備などの導入支援
 - エネルギーコストの削減につながる太陽光発電設備の導入や設備改修への支援

※グリーンな企業賃上げ環境整備支援《2025年度12月補正》

- 賃上げ環境の整備に取り組む中小事業者の働きやすい職場環境整備を支援

II 分野別の重点政策の主な事業

※21頁までに記載している項目は文字を灰色で表示

次期「福山みらい創造ビジョン」の7つの分野ごとに、2026年度(令和8年度)重点政策を総合的に推進する。

こども・若者

出会いと結婚の後押し

✓多様な出会いの場の提供

- ・コーディネーターによる相談支援
- ・AIマッチングシステムの導入
- ・ふくやまカップル・新婚応援パスポート

妊娠・出産への不安の軽減

✓妊娠や出産に向けた支援の充実

- ・一般不妊治療費助成の拡充
- ・多胎妊娠の妊婦健康診査の支援
- ・プレコンセプションケアの推進

✓周産期・小児医療の強化

- ・福山市民病院 周産期母子医療センターの開設<<再掲>>
- ・医療機関の新規開業・承継支援<<再掲>>

ジェンダーギャップの解消とアンコンシャス・バイアスの変革

✓ジェンダーギャップの解消と固定的な性別観に関するアンコンシャス・バイアスの変革

- ・女性復職キャリア支援
- ・アンコンキャラバン隊による出前講座
- ・ジェンダーギャップ解消に向けた官民連携推進体制の構築

ネウボラセンターを中心とした子育て支援

✓妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援の充実

- ・ネウボラセンターの相談体制の充実
- ・ネウボラ相談窓口「あのね」での相談支援
- ・第1子の出産を迎える妊産婦・パートナーへの支援の充実
- ・母子保健業務に係る相談記録のDX
- ・AI音声認識を活用した電話相談対応
- ・子育て応援プレゼント事業
- ・こんにちは赤ちゃん訪問による不安軽減
- ・子育て支援アプリ等での子育て関連の情報発信

✓子育てにかかる経済的負担の軽減

- ・子ども医療費助成の拡充
- ・幼児等インフルエンザ予防接種費の一部助成
- ・第1子の保育料見直し

✓質の高い保育サービスの提供

- ・かるがる登園の開始
- ・スマート保育の実施
- ・乳児等通園支援事業(誰でも通園事業)の本格実施
- ・病児・病後児保育の充実
- ・園外保育事業への支援
- ・保育士資格取得支援による人材確保
- ・放課後児童クラブのICT化
- ・(仮称)あけぼのこども園の整備
- ・湯田複合化施設へのこども園の整備

✓こどもの遊び場の充実

- ・交流館へのキッズスペース整備
- ・えほんの国の運営

✓子育てへの多様なニーズへの対応

- ・若者夫婦世帯向け市営住宅の充実<<再掲>>
- ・空家のリノベーションに対する支援の充実<<再掲>>

こどものウェルビーイングの向上

✓困難を抱えるこども・若者への支援

- ・ヤングケアラー実態調査
- ・こども家庭センターによる児童虐待防止対策
- ・ひとり親家庭の学び直し支援
- ・ひとり親家庭の養育費確保支援
- ・こども発達支援センターの体制拡充
- ・医療的ケア児の通学支援の本格実施
- ・小児慢性特定疾病児童等の不安軽減
- ・ペアレントメンターによる保護者支援の充実<<再掲>>

✓こども・若者の意見の反映と権利の尊重

- ・こども・若者への意見聴取

✓こども・若者の居場所づくり

- ・こども食堂の開設・運営支援
- ・ユースセンターの開設

全てのこどもたちが成長を実感できる学校教育の推進

✓確かな学力と豊かな心の育成

- ・「学力向上プロジェクト」の更なる充実

✓多様な学びの場の充実

- ・イェナプラン教育の実践

✓不登校の未然防止と支援の充実

- ・校外フリースクール「かがやき」の支援体制の充実
- ・メタバースを活用した不登校支援

✓こどもの学びを支える教育環境の向上

- ・教職員の教科指導力の向上
- ・スクールロイヤーの活用
- ・コミュニティ・スクールの全校導入
- ・全ての市立小・中学校等体育館への空調整備

子ども未来館構想の推進

✓(仮称)子ども未来館の整備

- ・(仮称)子ども未来館の整備

✓大阪・関西万博パビリオンの移築と活用

- ・大阪・関西万博パビリオン「いのちの遊び場クラゲ館」の移築

魅力ある高等教育の提供

✓福山市立大学情報工学部の開設

- ・新棟の整備完了
- ・学生確保のための広報や入試の実施

若者のチャレンジ応援

✓若者の夢の実現を後押しするまちづくり

- ・(仮称)ふくやま未来大賞の実施
- ・次世代AIアカデミー
- ・福山夢・未来開花プロジェクト

地域経済

グリーンな企業プラットフォームの充実

✓働き方改革の推進

- ・グリーンな企業プラットフォームの推進
- ・働き方改革実践応援奨励金
- ・働き方改革リーダー研修
- ・企業の福利厚生充実に向けた実証事業
- ・ジェンダーギャップ解消に向けた官民連携推進体制の構築《再掲》

✓学生と企業とのマッチング機会の充実

- ・インターンシップの促進
- ・首都圏関係人口創出事業

✓多様な人材の活躍促進

- ・女性の就業環境改善への支援
- ・兼業・副業人材活用の推進
- ・障がい者雇用の促進に向けた企業理解の促進

企業の稼ぐ力の向上

✓企業の経営力強化

- ・中小企業のデジタル化支援の充実
- ・海外などの販路開拓支援
- ・産地連携、産地PRによるデニムの魅力向上

✓ものづくり産業の競争力強化

- ・ものづくり大学等によるデジタル人材の育成
- ・びんごもの創り推進会議

新たな産業の創出

✓企業誘致の促進や起業・創業支援

- ・新たな企業誘致施策の検討
- ・福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizによる創業支援
- ・エフピコRiM2階の改修《再掲》

経済活動を支える基盤整備

✓慢性的な渋滞の解消

- ・福山道路等の幹線道路網の整備《再掲》

✓交通・物流ネットワーク機能の強化

- ・福山港の機能強化《再掲》
- ・川南湯田村駅線の整備《再掲》

✓新たな産業用地の創出

- ・新たな産業団地の事業化検討《再掲》

農林水産業の振興

✓農林水産業の稼ぐ力の向上

- ・道の駅アリストめまぐまの再整備
- ・福山地方卸売市場の再整備支援
- ・かき養殖事業者への支援
- ・農業法人の参入促進

✓農地・森林の保全と有害鳥獣対策

- ・耕作放棄地の利活用による地域活性化支援
- ・災害に強い森づくりの推進
- ・有害鳥獣の市街地出没対策
- ・木育の推進

✓海洋環境の改善

- ・漁場環境の整備
- ・アイゴ駆除による藻場保全

戦略的な観光振興とMICEの推進

✓観光資源の発掘・磨き上げ

- ・ガストロノミーツーリズムの推進
- ・仙酔島活性化推進事業

✓周遊観光の推進

- ・鞆の浦しおまち海道サイクリングロードの利用促進
- ・周遊バスなどによるガーデンツーリズムの推進《再掲》
- ・鞆地区東西交通・交流拠点の整備《再掲》
- ・新渡船の建造
- ・海外旅行会社対象のツアーなど備後圏域の連携

✓MICEの積極的な誘致

- ・現地視察制度によるMICE誘致の促進
- ・MICEボランティアの本格始動

都市基盤

福山駅周辺のにぎわい再生

✓福山駅前広場の再整備

- ・周辺道路等の検討

✓伏見町周辺エリアを始めとするウォカブルエリアの魅力向上

- ・丸之内公園の再整備
- ・エフピコRiM2階の改修

全世代交流型エリアの創造

✓多様な世代のニーズに応える魅力ある施設の整備

- ・全世代交流型エリアビジョンの策定
- ・五本松公園の再整備
- ・(仮称)子ども未来館の整備《再掲》
- ・(仮称)まちづくり支援拠点施設の整備《再掲》
- ・大阪・関西万博パビリオン「いのちの遊び場クラゲ館」の移築《再掲》

✓福山駅前との回遊性の向上

- ・自動運転レベル2の商用運行《再掲》

地域の拠点づくり

✓“地域の拠点づくり”の本格始動

- ・神辺駅西側、松永駅北口のにぎわいづくり
- ・(仮称)新市地区かわまち広場の整備検討
- ・沼隈、内海地域のにぎわいづくり
- ・駅家公園の活用
- ・道の駅アリストめまぐまの再整備《再掲》

✓“地域の拠点づくり”の取組の波及

- ・地域力アップデート大会議による地域間の連携促進

地域公共交通の充実

✓路線バスの維持

- ・バス共創プラットフォームによる実証事業
- ・商業施設連携型パークアンドライド導入に向けた取組

✓鉄道の利用促進と利便性向上

- ・商業施設連携型パークアンドライド導入に向けた取組《再掲》
- ・鉄道駅のバリアフリー化の促進

✓多様な移動手段の確保

- ・オンデマンド乗合タクシーの運行
- ・自動運転レベル2の商用運行

市民生活と経済活動を支える基盤整備

✓慢性的な渋滞の解消

- ・福山道路等の幹線道路網の整備

✓交通・物流ネットワーク機能の強化

- ・福山港の機能強化
- ・川南湯田村駅線の整備

✓新たな産業用地の創出

- ・新たな産業団地の事業化検討
- ・福山港内港地区の埋立ての検討

医療・福祉

医療提供体制の確保

- ✓ 福山市民病院の機能強化
 - ・福山市民病院 周産期母子医療センターの開設
- ✓ 備後圏域内における医療機関の連携促進
 - ・圏域内の公立病院への医師などの派遣
- ✓ 医療人材の確保・育成
 - ・医療機関の新規開業・承継支援
 - ・看護学生の市内定着の促進
 - ・大学と連携した小児科医・産婦人科医の確保
- ✓ 健康危機管理体制の強化
 - ・IHEAT要員の育成

高齢者の健やかな暮らしの確保

- ✓ 健康寿命の延伸
 - ・フレイル予防の推進
 - ・特定健康診査の受診率向上
 - ・おでかけ乗車券の拡充
 - ・ふくやまSHINKAプロジェクトによる社会参加の促進
 - ・脳の健康度チェック事業
 - ・認知症ナビの簡易スクリーニング検査
- ✓ 地域包括ケアシステムの深化
 - ・AIを活用したケアプラン作成支援システムの導入
 - ・終活に関する啓発と相談支援
 - ・介護サービス事業所におけるケアプランデータ連携システムの導入支援

障がいのある人の安心な生活と自立支援

- ✓ ライフステージに応じた支援
 - ・ペアレントメンターによる保護者支援の充実
 - ・緊急時の支援体制の整備
 - ・医療的ケア児の通学支援の本格実施《再掲》
 - ・こども発達支援センターの体制拡充《再掲》
- ✓ 自己実現に向けた支援
 - ・障がい者雇用の促進に向けた企業理解の促進《再掲》

セーフティネットの充実

- ✓ 複雑化・複合化した課題への対応
 - ・重層的支援体制の整備
 - ・つながりサポーターの養成などによる孤独・孤立対策の推進
 - ・ひきこもりの人やその家族への相談支援
 - ・生活困窮者等への就労支援

ばらのまちづくり・文化・スポーツ

世界バラ会議を契機とした新たなばらのまちづくり

- ✓ 世界バラ会議福山大会レガシーの発展
 - ・公共空間への大会記念ばらの植栽
 - ・世界バラ会議福山大会開催1年後イベント
 - ・周遊バスなどによるガーデンツーリズムの推進
 - ・福山ばら大学にマイスターコース創設
 - ・ばらのまち福山の情報発信の強化
 - ・MICEボランティアの本格始動《再掲》

歴史・文化の薫るまちづくり

- ✓ 歴史・文化資源の保存と活用
 - ・福山城の保存活用
 - ・国登録有形文化財登録に向けた砂留の測量調査
 - ・伏見櫓等の国宝化に向けた京都伏見城の遺構調査
 - ・福山市登録文化財制度による文化財の顕彰
- ✓ 郷のまちづくりの推進
 - ・郷の町並み保存の推進
 - ・郷地区東西交通・交流拠点の整備
- ✓ 文化・芸術活動の促進
 - ・ばらのまち福山国際音楽祭の充実
 - ・ふくやま美術館の改修に向けた基本計画の策定

スポーツの振興

- ✓ スポーツ機会の充実
 - ・秋の一大イベントの開催
 - ・プロスポーツ誘致等による観るスポーツの推進
 - ・スポーツ教室などによるスポーツをするきっかけづくり
- ✓ スポーツ環境の充実
 - ・再整備に向けた耐震診断
 - ・備後圏域で活躍する学生等への支援

地域社会

持続可能な地域コミュニティの形成

- ✓ まちづくりネットを中心とした新たなコミュニティづくり
 - ・(仮称)まちづくり支援拠点施設の整備
 - ・まちづくりネットによる地域課題の解決支援
 - ・まちづくりサポートセンターによる人材育成・連携の促進
 - ・地域づくり塾、まちづくりミーティングによるまちづくりの支援
 - ・デジタル技術活用に向けた学びの場の提供
- ✓ 交流館の整備
 - ・光、曙、山野、手城交流館の整備

多様性社会の推進

- ✓ 多文化共生の推進
 - ・地域の多文化共生への理解促進
 - ・日本語教室ボランティアの育成促進
 - ・初期日本語教室の運営
 - ・日本語初期指導が必要な児童・生徒への支援
 - ・外国人材の日本語学習支援
- ✓ ジェンダーギャップの解消と固定的な性別観に関するアンコンシャス・バイアスの変革
 - ・アンコンキャラン隊による出前講座<<再掲>>
 - ・ジェンダーギャップ解消に向けた官民連携推進体制の構築<<再掲>>

環境に配慮したまちづくり

- ✓ 脱炭素社会の構築(気候変動対策)
 - ・再生可能エネルギーの地産地消の推進
 - ・家庭、事業者の再エネ・省エネ設備の導入支援
 - ・公共施設へのLED照明の整備
- ✓ 循環型社会の構築
 - ・リサイクル工場の整備
 - ・不燃(破碎)ごみ仮設処理設備の購入
 - ・プラスチックごみの資源化

快適な生活環境の整備

- ✓ 良質な住環境の確保
 - ・北吉津町市営住宅の再整備
 - ・若者夫婦世帯向け市営住宅の充実
 - ・空家のリノベーションに対する支援の充実
- ✓ 公園・緑地の整備
 - ・地域が主体となった魅力ある公園づくり
 - ・春日池公園の官民連携の推進
- ✓ 道路・橋りょうなどの生活インフラの整備
 - ・水路等への転落防止対策の推進
 - ・児童生徒の安全確保に向けた通学路の安全対策

安心・安全

防災・減災の推進

- ✓ 強靱なインフラ整備
 - ・蔵王ポンプ場などの整備
- ✓ 地域防災力の強化
 - ・地震防災マップ、津波ハザードマップの作成
 - ・避難行動要支援者対策の強化
 - ・自主防災組織の活動の活性化支援
 - ・防災リーダーの養成・活躍促進
- ✓ 避難所の環境改善
 - ・防災拠点備蓄倉庫、分散備蓄倉庫の整備
 - ・災害備蓄の充実
 - ・全ての市立小・中学校等体育館への空調整備<<再掲>>

上下水道施設の整備

- ✓ 老朽化対策・災害対策の強化
 - ・蔵王ポンプ場などの整備<<再掲>>
 - ・システムのクラウドサービス利用
 - ・行政手続のオンライン化

消防・救急体制の強化

- ✓ 消防対応力の強化
 - ・新たな訓練場の整備を通じた広域連携の強化
- ✓ 救急体制の充実
 - ・マイナ救急の本格運用

防犯・交通安全対策の推進

- ✓ 防犯対策と消費者トラブルの未然防止
 - ・防犯カメラの設置による防犯体制の強化
 - ・特殊詐欺被害の未然防止に向けた防犯機能付きの電話機の購入支援
- ✓ 交通安全対策
 - ・児童生徒の安全確保に向けた通学路の安全対策<<再掲>>

備後圏域の連携強化

当初予算額:11,121,633千円

備後圏域の稼ぐ力の向上や医療提供体制の確保などに向けた取組に加え、若者を応援する新たな取組にも挑戦し、「豊かさが実感でき、いつまでも住み続けたい備後圏域」の実現をめざす。



第3期びんご圏域ビジョンの取組の推進



経済

当初予算額:178,948千円

・【新】脱炭素農産物テストマーケティング

- 脱炭素農産物の事業性を検証するための実証実験

・【新】びんごもの創り推進会議

- 備後地域のものづくり企業と首都圏等のベンチャー企業のマッチングによる新たなビジネス機会の創出

・【新】ガストロノミーツーリズムの推進

- 特別感を味わえる場所で備後圏域の食材等を活用したイベントの開催



都市機能

当初予算額:7,756,039千円

・【拡】看護職員の確保

- 高校生向けの進路相談会の拡充

・公立病院間の連携

- 診療支援や産科セミオープンシステムの継続

・福山市民病院の機能強化

- 周産期母子医療センターの開設



住民サービス

当初予算額:3,186,646千円

・【新】スポーツ応援プロジェクト

- 産学官で連携してサポートする体制を構築
- 備後圏域で活躍する学生等の情報発信

・【拡】ネウボラセンターの相談機能の強化

- こども・若者、子育て家庭の支援拠点を設置（こどもの遊び場、ユースセンターを併設）
- 備後圏域の若者相談にも対応

・【拡】多文化共生の推進

- 初期日本語教室の運営
- 日本語教室ボランティアの育成促進

・【拡】水道事業の連携強化

- 水質管理業務の共同実施の拡大（神石高原町）